

<あとがき>

RECNA が設立されてから二年が経過した。もちろん二年という時間は、大きな成果を達成するためには十分ではない。しかし、同時に、「二年目」というのは、組織にとって「白紙」の状態ではない。ある程度活動も軌道に乗り、研究の方向性も定まってきたと言っても良いだろう。その反面、初年度にがむしゃらに取り組んできた様々な計画の中には、やや手を広げ過ぎ、その後のフォローが滞っているものも見られるようになってきた。それらをどのように修正し、ルーティンを安定させてゆくか、若干の課題も見えてきたような感がある。

「核兵器の廃絶」という RECNA の目標は遠大であるにもかかわらず、RECNA のスタッフと予算は、現在の世界の核兵器の状況に比べれば、極めて細やかなものである。それをいかに効率的に活用し、また同じ目標へ向けて活動している世界中の多くの研究機関や平和運動家、グループとどのように連携を深め、それぞれの持ち味を組み合わせ、核兵器廃絶へ向けて前進してゆくかも三年目の課題になるだろう。

広瀬 訓(RECNA 副センター長)

長崎大学核兵器廃絶研究センター年報 2013

2014 年 3 月 31 日発行

発行所 長崎大学核兵器廃絶研究センター(RECNA)
〒852-8521 長崎市文教町 1-14
電話: 095-819-2164 FAX: 095-819-2165
E-Mail : recna@ml.nagasaki-u.ac.jp
<http://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/>

印刷所 株式会社インテックス
〒850-0046 長崎市幸町 6-3
電話 : 095-826-2200